

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第2区分
 【発行日】平成22年9月2日(2010.9.2)

【公表番号】特表2003-516951(P2003-516951A)
 【公表日】平成15年5月20日(2003.5.20)
 【出願番号】特願2001-544649(P2001-544649)
 【国際特許分類】

A 6 1 K 8/00 (2006.01)

A 6 1 Q 5/08 (2006.01)

A 6 1 Q 5/10 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 7/135

A 6 1 K 7/13

【誤訳訂正書】

【提出日】平成22年7月8日(2010.7.8)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0008

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0008】

故に、ダークヘアーに対してでさえ有効に毛髪を漂白および/または着色することができるが、毛髪の損傷を回避または低減し、毛髪に対して改善された損傷回復および保護をもたらす毛髪漂白および/または着色組成物が、捜し求められ続けている。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0009

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0009】

本発明者は、今般、毛髪漂白および着色組成物をpH10より上のpHに緩衝した場合、コレステロールの存在によって、pH10より下のpHを有するこうした組成物の場合に比べて、大きく損傷を軽減し、損傷から毛髪を保護し、および/または損傷の回復を改善することができることを発見した。こうした組成物は、ダークヘアーを有効に漂白および着色することができる一方で、一般にこうしたpH系によってもたらされる損傷を驚くほど低減させることができるため、有益である。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0026

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0026】

本発明者は、今般、pH10より上のpHに緩衝されている毛髪漂白および着色組成物中では、pH10より低いpHを有するこうした組成物の場合より大きく、コレステロールが、損傷を軽減し、毛髪を損傷から保護し、および/または損傷の回復を改善することを見出した。こうした組成物は、ダークヘアーを有効に漂白および着色することができる一方で、一般にこうした高いpH系によってもたらされる損傷を驚くほど軽減させることができるため、有益である。